

3回生 必修教科「国語」授業のシラバス

教科名	国語	科目名	国語3＋言語文化（35時間）	単位数	175 時間
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				
教科書	国語3（光村図書）	副教材	WinPass 中学国語3（文理） 国語の積み上げ3年生【単元テスト】（明治図書） 国語便覧【北海道版】（浜島書店） 高校生の古典文法（京都書房） 漢文必携（桐原書店）		

1 学習の目標

- （１）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 （２）論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習の方法

- （１）持ち物は、教科書・ノート・ファイル（3点セット）です。他に必要なものがある時には、授業時に連絡します。
 WinPass（ワーク）は、主に長期休業課題や日常の家庭学習用として使用します。
 （２）新しい単元に入る時は本文を全文読みましょう。
 （３）わからない言葉は自分でどんどん調べましょう
 （４）授業について
 ①説明的な文章の場合は形式段落、意味段落に分け、作品の構成を理解し、筆者のものの見方や考え方を理解することを目指しましょう。
 ②文学的な文章の場合、登場人物の心情を場面ごとに丁寧に読み取り、自分だったらどうするのかという想像の追体験を通して、筆者の作品を通しての主張を読み取ることを目標にしましょう。
 ③発問については、必ず自分で答えを出し、他者の意見や解答例と比較しましょう。

〈学習アドバイス〉

- 「考える学習（例：【心情理解】【内容理解】【構成】【作文】など）」と「覚える学習（例：【漢字】【表現技法】【文法事項】【慣用句】【仮名遣い】など）」を使い分けましょう。覚える内容を覚えなければ、活用することもできません。
 ○「予習」は、「新出漢字や新出語句の意味や用法を辞書で調べること」や「教科書の該当ページに目を通しておくこと」などがあげられます。「復習」は、「その日の授業で理解できなかったところ」や「やり残したところ」の見直しが主になります。学んだことや考えたことを定着させるために必ずその日のうちに行いましょう。基礎期（1、2回生）のうちは、特に「復習」を中心に行うとよいでしょう。

3 評価について

（１）評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
②思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

（２）評価の方法（以下観点①～③は「（１）評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考査	単元 テスト	各種 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポート	ノート	ワーク シート	討議	Win Pass	課題	日常 取組
①知識・技能		○	○	○		○			○	○			○	○
②思考・判断・表現		○	○	○		○			○	○			○	○
③主体的に学習に取り組む態度						○			○	○		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- 各考査の終了時には、ノートの回収をします。漢字や調べたこと、自分の意見を書いてきちんと提出しましょう。
 ○配布したプリントや小テストなどは必ずファイルにまとめて整理し、復習の際に確認しましょう。
 ○ノートは自分にとっての重要な参考書がわりです。見やすく復習しやすいようにわかりやすくまとめましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されことなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

※【知識・技能】→【知・技】、【思考・判断・表現】→【思・判・表】、【主体的に学習に取り組む態度】→【態】として表現しています。

月	学習内容	評価の観点	考查	資質・能力
1 深まる学びへ				
4	世界はうつくしいと	【知・技】詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。 【態】進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。		ABCDEF HK
	握手	【知・技】時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。 【思・判・表】 ・「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 ・文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。 【態】粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。		
	【聞く】評価しながら聞く	【知・技】根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。 【思・判・表】 ・自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。 ・立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理してメモを取り、根拠の適切さや自分の考えとの違い、取り入れたい表現などを伝え合っている。 【態】聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。		
5	学びて時に之を習ふ ——「論語」から	【知・技】教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。 【思・判・表】孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。 【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。		
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	【知・技】情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。		
		【知・技】随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解している。 【思・判・表】 ・修学旅行で心に残った出来事から題材を選び、その題材に関する情報や図表、写真を集め、出典を明らかにして記事の中で活用している。 ・担当した記事の内容が効果的に伝わる文章の種類を選択し、その種類に合わせた文章の構成や表現を工夫している。 【態】進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。		
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	【知・技】 ・漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
2 視野を広げて				
6	作られた「物語」を超えて	【知・技】ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。 【思・判・表】 ・論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 ・原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめている。 【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。		ABCDEF GHIKLM
	思考のレッスン 具体化・抽象化	【知・技】具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。 【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。		
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける 資料 リオの伝説のスピーチ	【知・技】情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切に確認して、必要な情報を集めている。 【思・判・表】 ・話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。 ・興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。 【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。		
	漢字に親しもう2	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	文法への扉1 すいは幾つ必要？	【知・技】既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。 【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。		
	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	【知・技】実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。 【思・判・表】 ・事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。 ・読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどの点に着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。 ・観点ごとに情報を整理し、着眼的を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。 【態】積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。	中間考查	
3 言葉とともに				
7	俳句の可能性 俳句を味わう 【書く】俳句を作って楽しもう	【知・技】 ・俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ・俳句の形式と特徴について理解し、俳句を創作している。 【思・判・表】 ・語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。 ・伝えたいことが効果的に伝わる構成（語順）を考えて、俳句を創作している。 ・自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。 【態】進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。		ADEIL
	言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざ	【知・技】古典や近代文学、年配のひととの会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。		

	して	【態】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。		
	言葉1 和語・漢語・外来語	【知・技】和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。 【態】進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。		
8	読書を楽しむ	【知・技】さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。 【態】進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。		
	「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと？	【知・技】本のさまざまな探し方について理解し、興味をもてそうな本を見つけている。 【思・判・表】登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。 【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。		
4 状況の中で				
	挨拶 ——原爆の写真によせて	【知・技】比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。 【思・判・表】 ・詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。 ・現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。 【態】詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。		ABCDEF HJLM
	故郷	【知・技】文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 【思・判・表】 ・自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 ・「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。 【態】粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	期末考査	
9	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	【知・技】話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。 【思・判・表】自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。 【態】粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。		
	[推敲]論理の展開を整える	【知・技】「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。 【思・判・表】課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。 【態】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。		
	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	【知・技】慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。 【態】積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。		
	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	【知・技】漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
5 自らの考えを				
10	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	【知・技】自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。 【思・判・表】 ・二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。 ・自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。 【態】積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。		ABCDEF H
	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	【知・技】具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。 【思・判・表】 ・観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 ・自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。 【態】粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書くとしている。		
	漢字に親しもう4	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	[議論]話し合いを効果的に進める 1時間	【知・技】全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。 【思・判・表】話し合いの目的や進み具合など展開をもって効果的に話し合う工夫を考えている。 【態】積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。		
	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	【知・技】複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。 【思・判・表】提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。 【態】合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。		
	音読を楽しもう 初恋	【知・技】言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。 【思・判・表】文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。	中間考査	
6 いにしえの心を受け継ぐ				
11	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	【知・技】「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。 【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。		AFIL
	君待つと ——万葉・古今・新古今	【知・技】 ・三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 ・気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している。 【思・判・表】心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。 【態】進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。		
	夏草 ——「おくのほそ道」から [書く] 古典の言葉を引用	【知・技】 ・作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 ・古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。(131イ)		

	し、メッセージを贈ろう	【思・判・表】 - 芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。 - 芭蕉が見たものや感じたことを想像している。 - 自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。 【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。		
	古典名句・名言集	【知・技】 - 作者や作品の時代背景を知り、古典の名句・名言を朗読している。 - 気に入った名句や名言をノートに書いたり、それについて自分の考えを書いたりしている。 【態】長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。		
7 価値を生み出す				
1 2	誰かの代わりに	【知・技】抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。 【思・判・表】文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。 【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて議論したり文章にまとめたりしようとしている。		ABCDEF JM
	情報を読み取って文章を書く グラフを基に小論文を書く	【知・技】具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。 【思・判・表】資料から読み取ったことと考えると関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。 【態】論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書くようとしている。		
	漢字3 漢字のまとめ	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	文法への扉2 「ない」の違いがわからない？	【知・技】「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。 【態】単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。		
	本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 読書案内 本の世界を広げよう	【知・技】二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。 【思・判・表】読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。 【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んだことをまとめようとしている。		
8 未来へ向かって				
	温かいスープ	【知・技】文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 【思・判・表】自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。 【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。		ABCDEF JM
	わたしを束ねないで	【知・技】言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。 【思・判・表】詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。 【態】詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。		
	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	【知・技】 - 目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。 - 相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えている。 【思・判・表】 - 相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。 - 自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。 【態】粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。		
1	漢字に親しもう6	【知・技】音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	学習を振り返ろう	【知・技】 - 相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。 - 目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。 - 昔の時間の表し方や地名などを調べ、現代と比較したり、現代に受け継がれたりしていることを理解している。 ・アイヌ民族における地名に関する文章を読み、読書によって世界が広がることを理解している。 【思・判・表】 - 文章に表れているものの見方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 ・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。 ・自分の考えがわかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換えたりしている。 ・本文から根拠となる部分を挙げて、客観的に自分の考えを書いている。 【態】粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。	期末考査	
9 言語文化				
	古文編 説話 児のそら寝	【知・技】 - 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 - 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 - 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思・判・表】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【態】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。		ABCDEF IL
2	漢文編 入門 入門一 入門二			
3	近現代編 近代小説(一) 羅生門			

